

## 叡山電鉄(株)

同社は、1995年4月から約8年間にわたりデザイン電車「エコモーション」を運行し、環境の大切さを呼び掛けました。「エコモーション」とは、ECOLOGY(エコロジー)とLOCOMOTION(列車)とEMOTION(感動・情熱)を合わせた造語で、車体のデザインは米国の著名なアーティストであるアレックス・ボーイズ氏に担当していただきました。一昨年7月からは、「エコモーション」に代わるものとして「こもれび」を運行していますが、その車体には沿線の四季の変化と沿線に生息する動物をリアルに描く一方、自然・環境をテーマにした車内ギャラリーを開催するなど、「エコモーション」の精神は「こもれび」にもしっかりと受け継がれています。



▲エコモーション



▲こもれび

## 京阪バス(株)

同社は、環境にやさしいCNGノンステップバスを導入しています。CNGバスは圧縮天然ガス(CNG)を燃料とし、ディーゼルエンジンを使用する通常のバスに比べ、排気ガス中に含まれるNOx(窒素酸化物)を大幅に低減し、黒煙や硫黄酸化物を一切排出しないという特長があります。一昨年3月から導入を開始し、現在は6台を営業運転に供しています。また、黒煙や硫黄酸化物を95%捕集する高性能フィルターを装着した車両の導入も進めています。



▲CNGノンステップバス

## (株)京阪百貨店

同社は、昨年4月1日、社内に「環境委員会」を設置し、環境保全・改善を図る取り組みを開始しました。従来、空き缶・ペットボトル・食品発泡トレイ・牛乳パックの回収をはじめ、ハンガーリサイクルの推進、地下水の利用、清掃奉仕活動の実施などにより一定の成果を挙げましたが、今後、ISO14001の認証取得に向けて、「すがたも心もきれいな百貨店」というストアイメージにふさわしい環境対策を引き続き実践していきます。



▲京阪百貨店 守口店

### 環境方針《(株)京阪百貨店》

#### ■基本方針

京阪百貨店は企業理念にもとづき、環境への対応を経営の重点課題として捉え、快適で継続可能な生活環境の創造に向け、百貨店業として「お客様第一」を基本に環境保全に配慮した事業活動を行います。(以下に続く行動指針5項目は省略)